

黒鉄の宿

性奴隷へと墮つ剣士

R18

成人向け
ADULT ONLY



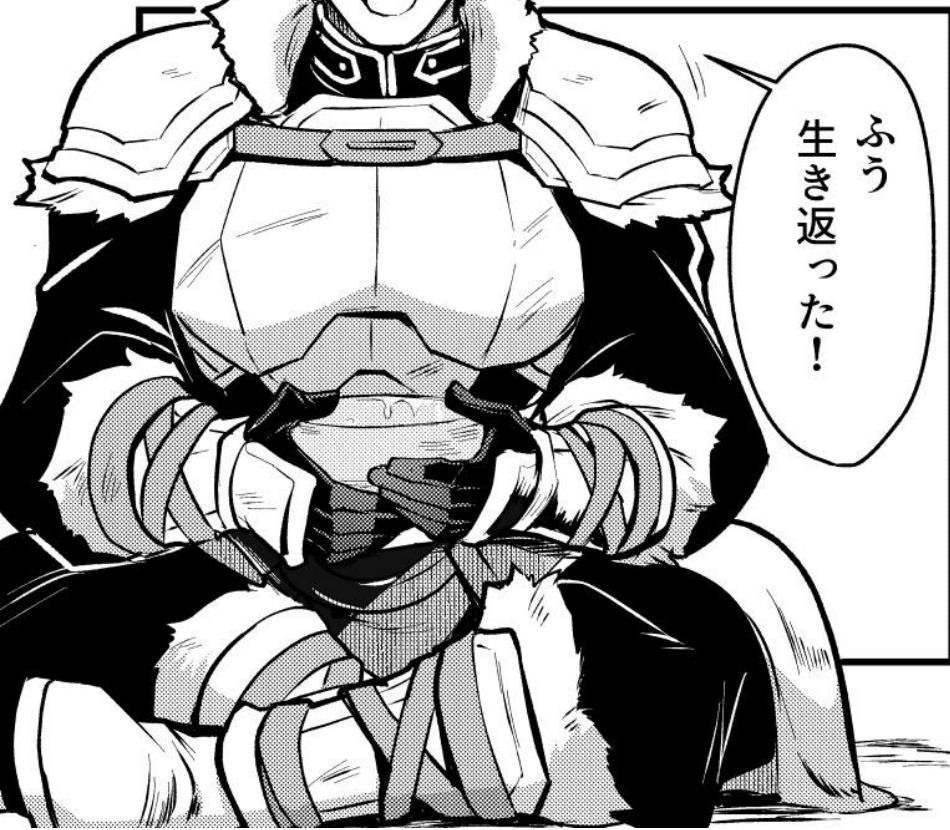
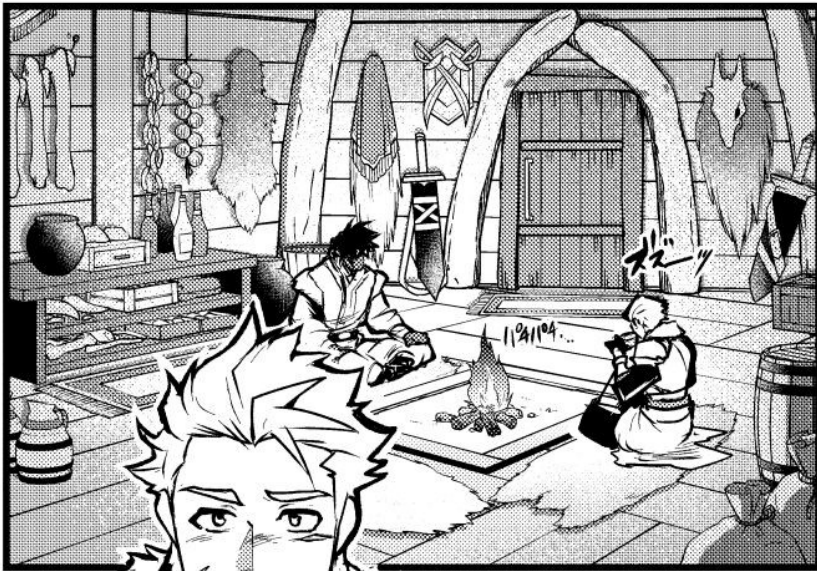
黒鉄の宿

性奴隷へと墮つ剣士

18歳未満の方の閲覧・購入を禁止します。
無断転写・複写・転用・転載・web上へのアップロードを禁止します。
この作品はフィクションであり実在の個人・団体などとは一切関係がありません

黒鉄の宿

性奴隷へと墮つ剣士





突然の吹雪で
危うく氷漬けに
なるところだった

宿を借りられた
だけでなく
暖かい食事まで
用意してもらって

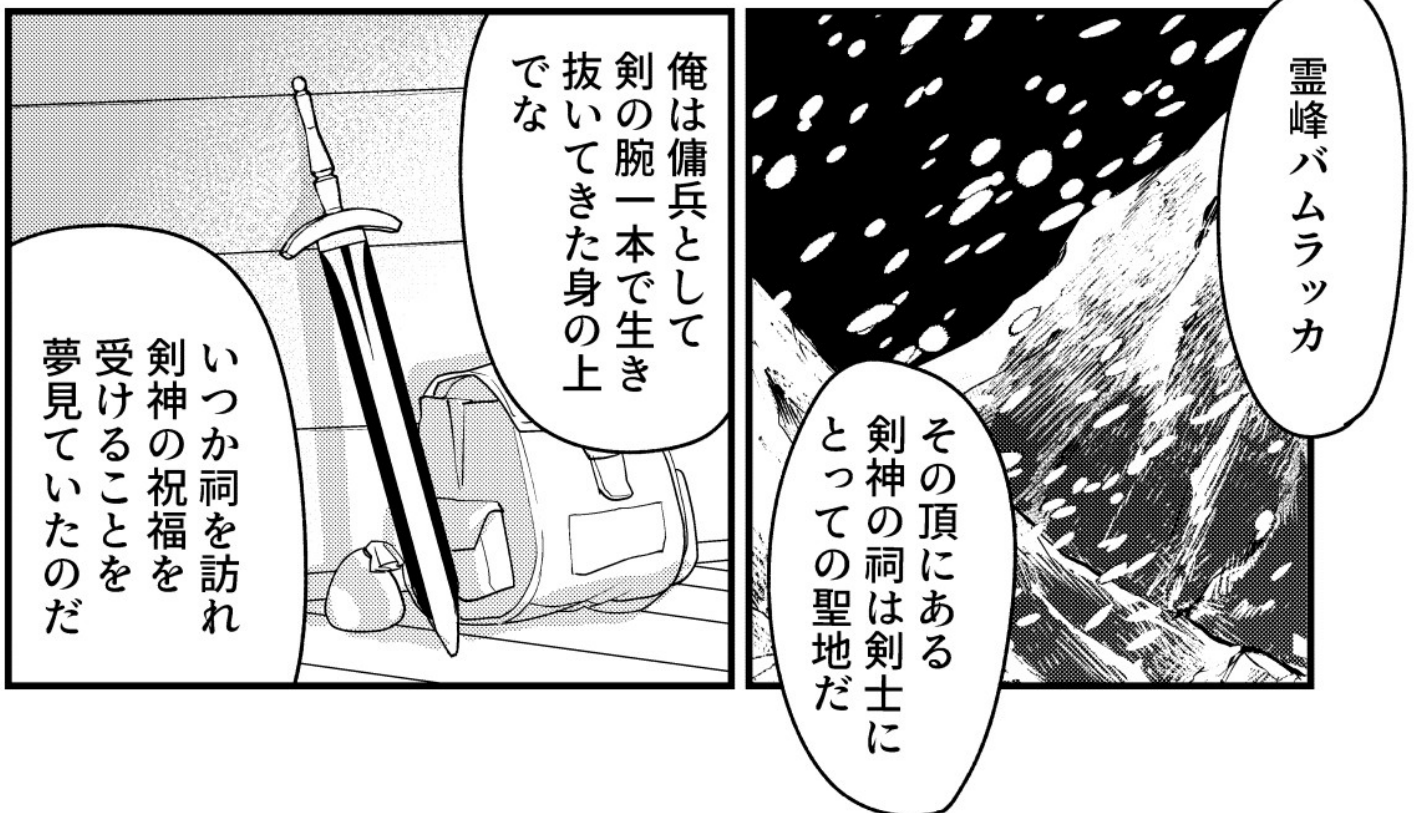
本当に
感謝している



真冬にこの山を
登ろうとは
酔狂な

お前も
剣神の祠が
目的か？

ああ



霊峰バムラツカ

その頂にある
剣神の祠は剣士に
とっての聖地だ

俺は傭兵として
剣の腕一本で生き
抜いてきた身の上
でな

いつか祠を訪れ
剣神の祝福を
受けることを
夢見ていたのだ



それが今回
護衛の仕事で運よく
霊峰のお膝元に来る
機会に恵まれた

冬の登頂は厳しいが
天候に恵まれれば
不可能でもない
ふもとで聞き

ならば多少
無茶をしても
…と思ったのだ



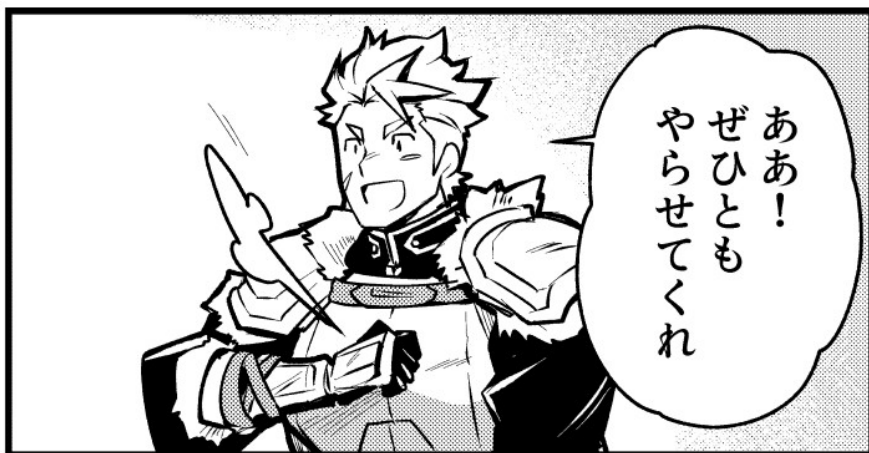
天の機嫌は予測が
つかぬもの

仕事をするなら

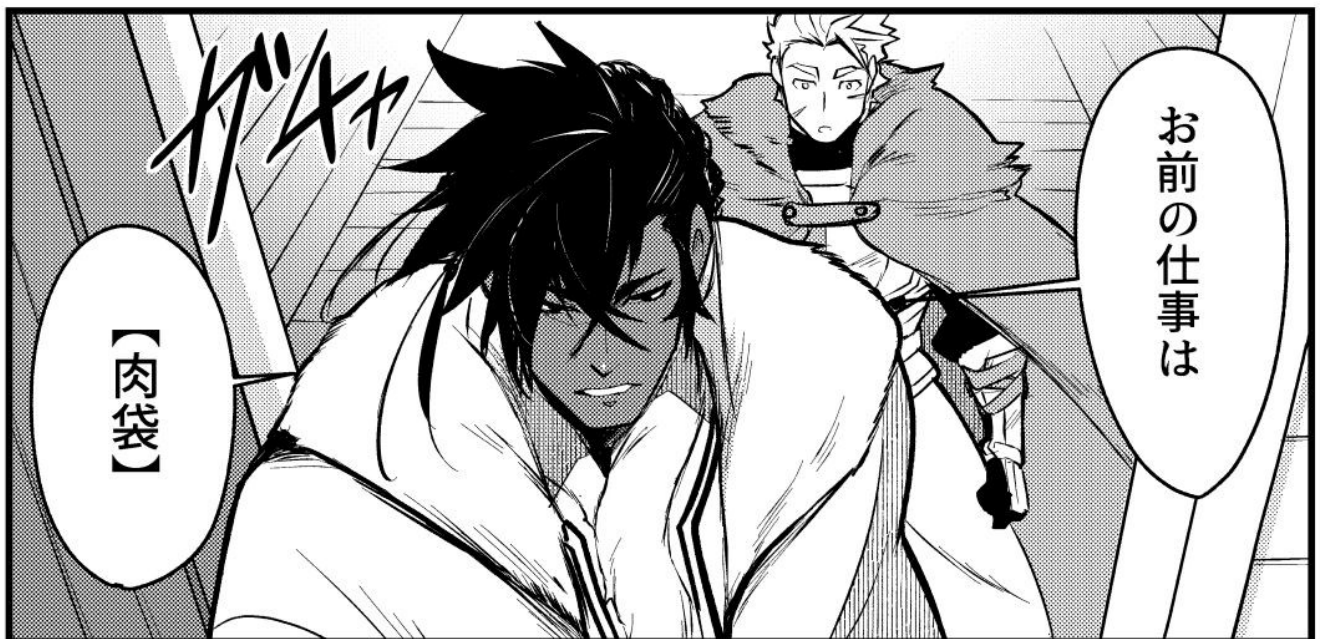
雪が収まるまで
この里に留まる
ことを許そう



とはいえこの吹雪
いつになったら
止むのやら……



ああ！
ぜひとも
やらせてくれ





里の男達の
精を受け止める
のが役割だ



…っ…
やめろ！

触るなっ！



承諾したはずだ

宿を借りられるなら
どんな仕事でも
するとな



やめろ!!!

俺は傭兵だ
娼婦じゃない!



お前は
我ら黒鉄の民の
火の恩恵を受け
その糧を口にした

対価は
支払って
もらわねばな



苦しい

気色悪い

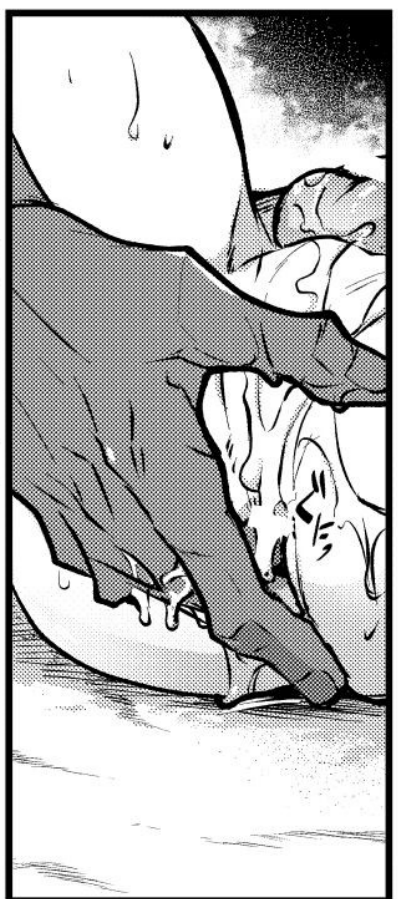
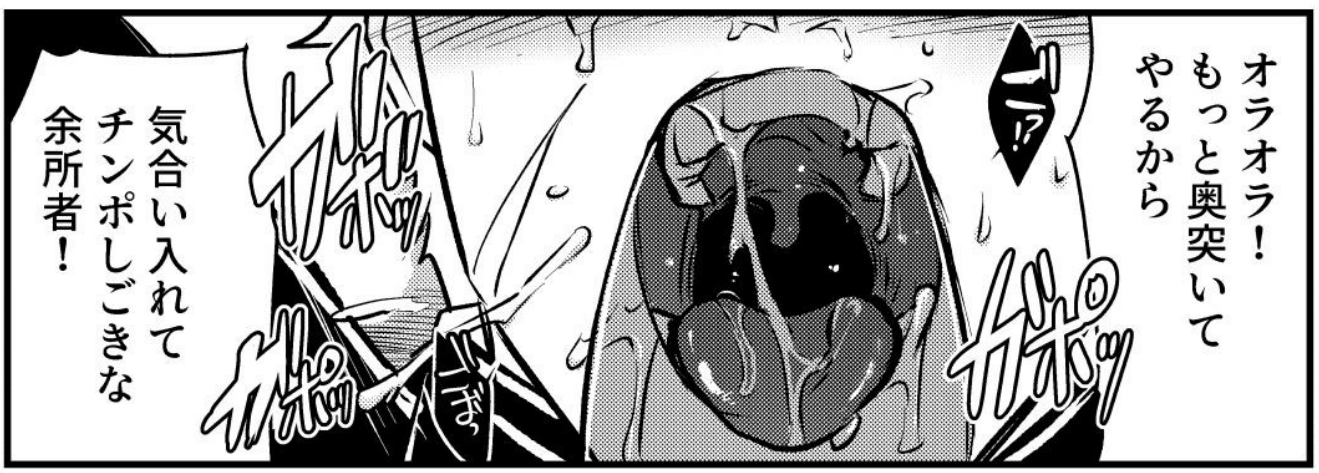
よく締まった
いい喉マンコ
じゃねえか

喉奥まで
息がつかま
れ

余所者!

気合い入れて
チンポしごきな
余所者!

オラオラ!
もつと奥突いて
やるから



こつちも
締まりが
すげえな

初物だろう
よくほぐせ



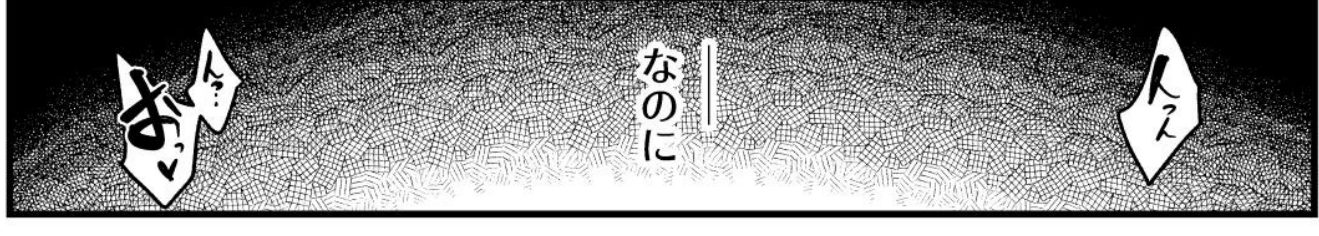
ケツの中
かき回されて...

屈辱だ
気持ち悪くて
たまならい



最悪だ

野郎の
チンポを啜え
させられて



なのに



感じてっ……!!

どうして俺……!!



しっかり
受け止める
肉袋！



オラッ
射精すぞ！



身体が
熱いだろう



身のうちの
快楽を呼び覚ます
効能がある



お前に
与えた食事は
肉袋のための
特別なもの

精がつき



うああ…っ
あ……っ！

いいやだ……
あッ…あ



悪くない穴だ
よそ者





肉袋
射精すぞ

黒鉄の民の
精強な種を
付けてやる



その尻で
こぼさず
受け止める

やめろっ...!
やめっ! あっあっ



なんだこれ

なにか...くる...

腹の奥から上がって...っ...





次の日も

ちよつと
ほじっただけで
雑魚マン
すぎんだろ

チンポも
乳首もモロ感の
雑魚だぞ

たった3日間
調教しただけで
これは弱すぎだろ

うおっ!!
潮吹きやがった

まあこいつ
初日からアクメ
しまくってた
からな

その
次の日も

こいつはこれが
好きなんだよ
ほらまたイった

痛めつけられて
興奮するとか
変態か?

ひよつとして
オナホ扱いはされるの
期待して山登って
きたのかもな

おいおい
加減しろよ

首絞めると
マンコも締まんのが
たまんねえな

ならお望み通り
コキまくって
やるか

いつになっても
吹雪が止む気配はなく

俺は
肉袋という名の
性奴隷として

朝も
昼も
夜もなく

里に
住まう男達
全員に

ひたすら
犯され続けた

だが――

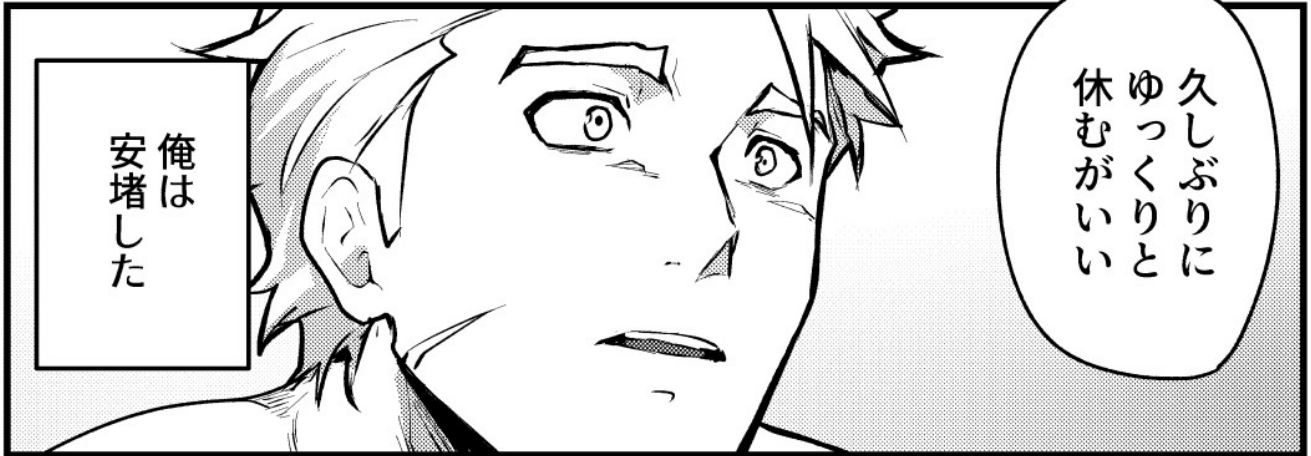


薬師夫婦の間に
子が生まれた

宴の準備で
皆忙しくなる

よって明日の
肉袋の仕事は
免除とする

久しぶりに
ゆっくりと
休むがいい



俺は
安堵した

久しぶりに
誰に辱められる
ことなく
ゆっくり眠れる

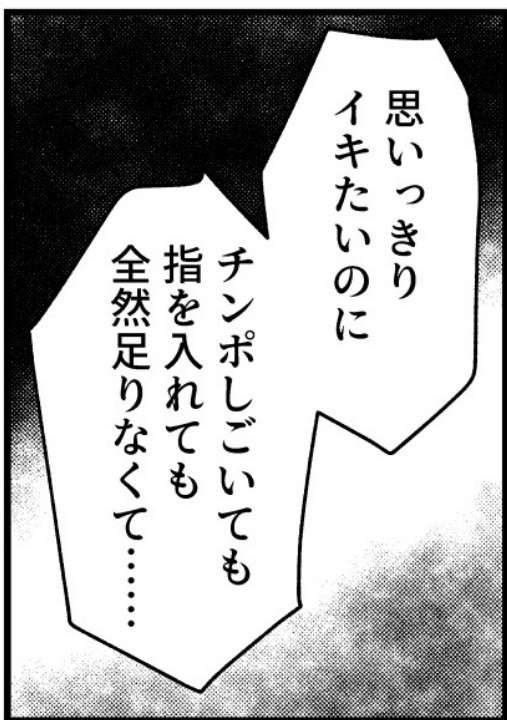
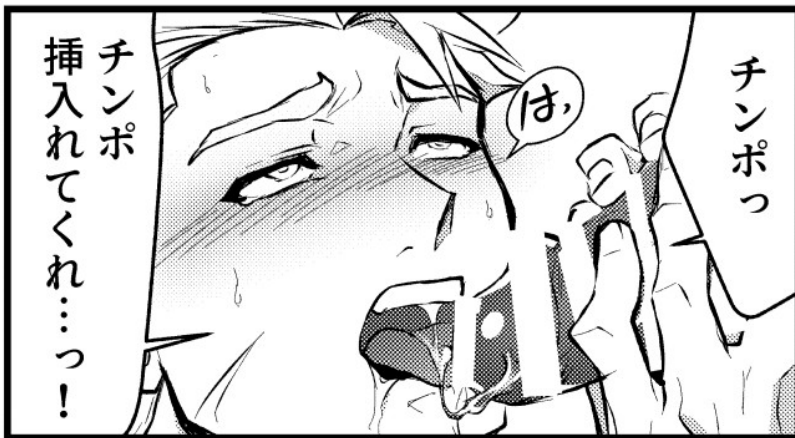
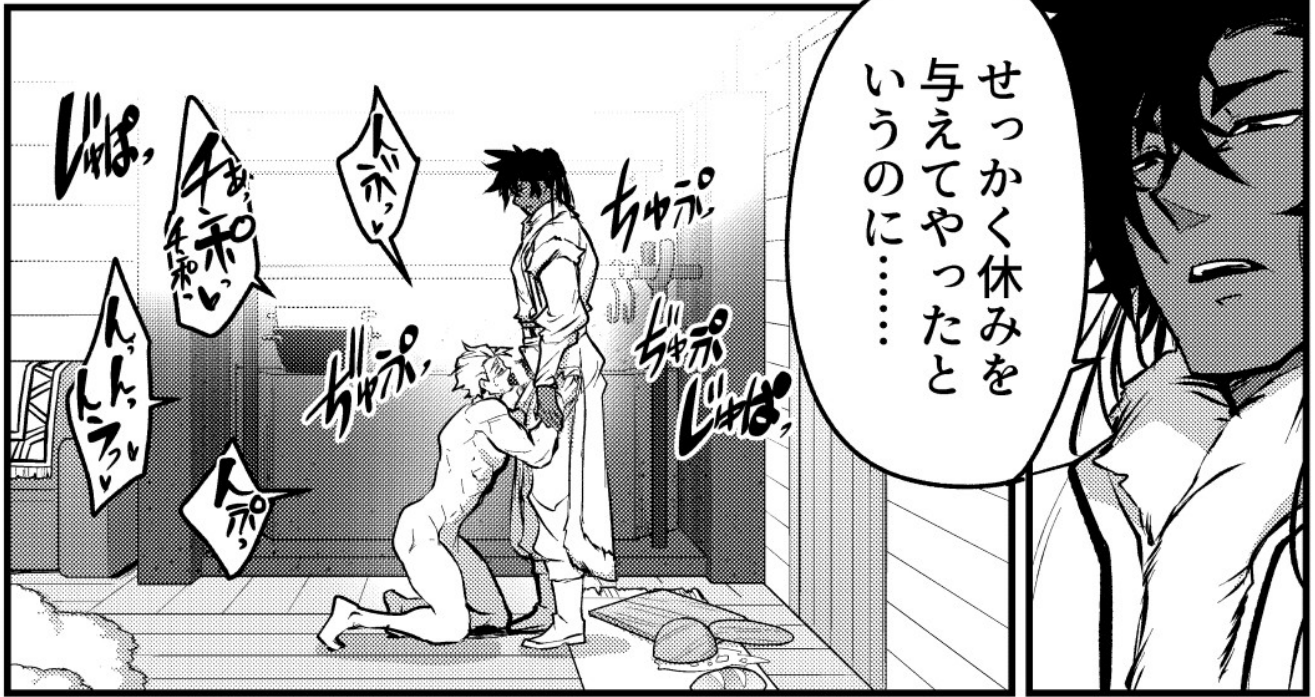
その間に
運よく吹雪が
やんでくれれば

この耐え難い
生活からも
解放される

それを
心から願って
いたのに……

やれやれ





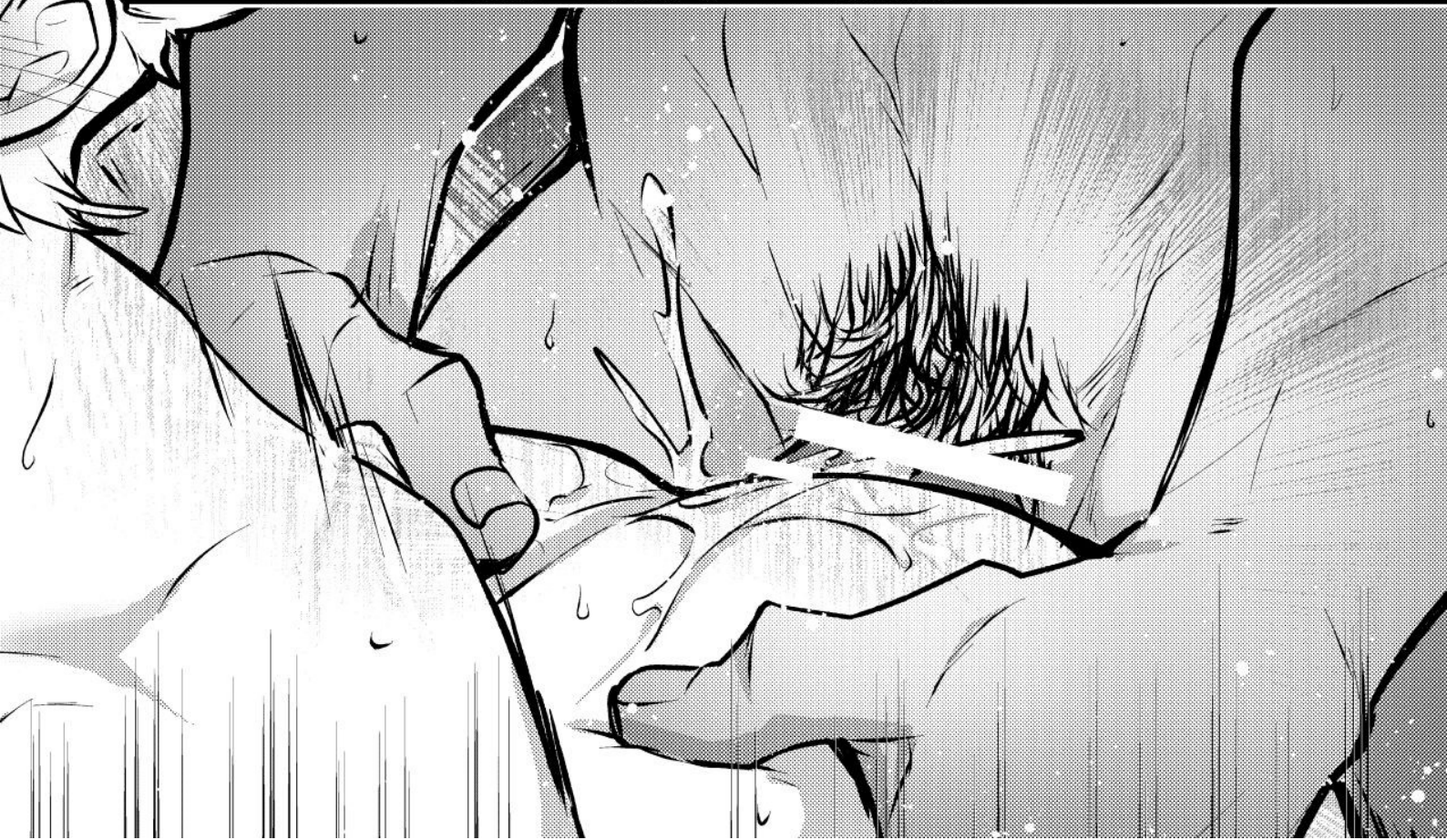
おっ……
お願いします！

この肉袋の
ケツマンコを
犯してください♡

里中の男の
チンポ啜えまくって
ガバガバになった
この種壺に

思いっきり
種付けしてください♡







頂きに
あるのは
剣神の祠

剣に生きる
者たちの
聖地

肉袋のお前には

なんの縁もない
場所だったない



剣神の祠

霊峰バムラッカの頂上に存在する十耀の神の一柱・剣神ガガルを祀る祠。祠を訪れた時にその資質を認められれば剣神ガガルによって祝福と共に秘された剣技を伝授されるとされている。歴史に名を遺す剣聖や戦場で華々しい活躍とげた豪勇無双の剣士のうち少くない者達がこの祠にて祝福を受けたとの証言を残しており、剣で生きる者たちにとってのまさしく聖地と言える場所である。

だが祠への道行は厳しく、険しい山道や激しく変化する気候、猛獣や妖物など数多の困難に阻まれ到達することは大変難しいとされる。

霊峰に住まう「黒鉄の民」はバムラッカでのみ産出する特殊な黒鉄を扱う高い鍛冶技術を持つ狩猟民族である。かれらは剣神の従僕で代々その祠を管理しており、時にその審判者として祠を目指す剣士を様々な形で試すのだという。

あとがき

こんにちはITKZです

久しぶりの性欲全振りモブレ陵辱チンポビンビンアヘ顔フェスティバル本ですやったぜ！
ここしばらく同人ではずっとエロはあるけどエロ本とは決まっていえない番長★物語ばかり
描いていたので「そろそろちゃんとエッチな同人誌もまた作りてえな」という気持ちが高ま
っていたので、念願かなってよかったです。

ただ5月の仕事がボーボーに燃えてしまい「表紙半日、ネーム1日、本文作画3日半」という
どうかしてるスケジュールで本を出すことになってしまったので、シチュも絵も
「谷までもてばいい!!!印刷所締め切りに間に合えばいい!出ない神本より出るクソ本!」
って感じでほぼすべて手癖で描いたみたいな感じになっちゃったのがちょっと無念です
モブごとに体格変えたり、定点観測シチュは遠近感を生かした構図にしたり、一シーンごと
のすけべをもう少し情念を入れて描いたり、「時間さえあれば……」と作業中凝りたいと
ころが次々いっぱい出てきて……ウオウ

ただ今回実質5日で26P本文+表紙を作成できるとわかったのは大きな収穫だったな~と
思いました。(仕上げと背景は全部作画スタッフさんに丸投げなのですが)

漫画という作業、凝ろうと思えばいくらでも凝れるけどそんな中である程度切り捨ててまず
形にする事で得られる満足感や急ぐことではじめて見えてくる課題というのはあるので諸々
次に活かしてまたモブレ凌辱本出したいですね!

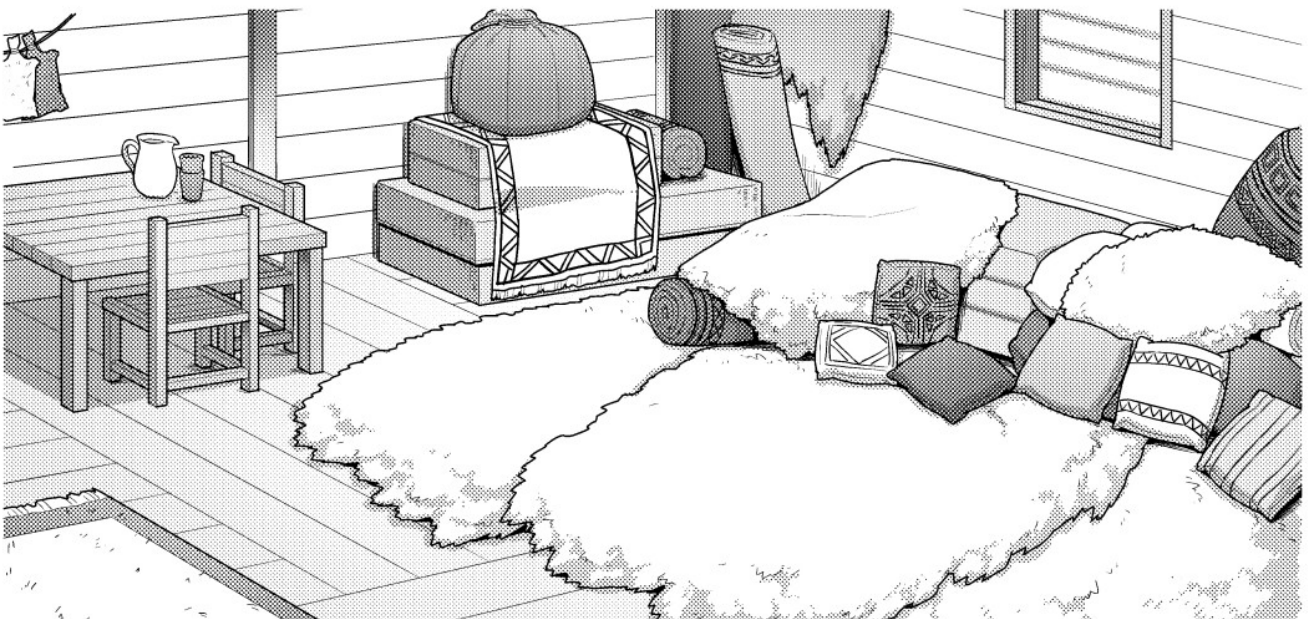
「もっと漫画の内容の話しろよ!!!」ってかんじなんですけど本当にチンポビンビンアヘ顔
フェスティバル本を野郎フェスで新刊として出すということしか考えてない作品なので語
るべきことがあんまりなくて……

アレです、スカ●リムでオークの集落に迷い込んだプレイヤーがモブレされるみたいな
やりてえな~と思って描きました。(ほんとに性欲しかないやんけ)

ただオーク(オーガ)はこの間敗北英雄でさんざやったので好みのイケメンwith山の部族
になりました。

一生懸命頑張っって好きなシチュを描けて大変楽しかったので、購入して読んでいただいたあ
なたにも楽しんでもらえていたらとてもうれしな~と思います。

それではまた次の本でお会いしましょう!



定点観測エロページ、実は縦3コマ構成だったのですが作業時間がなくて急遽縦2コマに変更してしまったので相楽さんに描いて
もらってヤリ部屋の一部を拡大して使用しました。せつかくしっかり描いてもらったのに全体掲載できなかったのがもったいなさ
すぎるのでここに掲載しておきます。

作画スタッフの皆さんには今回も無理なお願いをいっぱいさせていただきました、本当にありがとうございました!

キャラデザ



【攻・族長】
若いけど族長だよ。厳しい環境で育つてるので普通に全裸だろうがなんだろうが強いぞ。作者が大鑑巨砲主義なのでちんちんが超でかいぞ。君よ気高くあれ、攻のちんちんは巨大であれ。

【受・傭兵】
別に弱いわけじゃないけどかといってめちゃ強いというわけでもないのだから慣れない場所で全裸で集団に囲まれたら普通に無力だぞ。

限界スケジュール、どうせすぐ脱ぐなどの理由で30分でキャラデザを済ませる羽目になってしまった…
結果ふたりも完全にいつもの手癖の男になってしまいました。
でも好きなものは何回かいてもいいのでこれはこれでまあいいんじゃないかな(前向き)

黒鉄の宿 性奴隷へと墮つ剣士

2023年5月27日発行

[発行] ITKZ / 性威大將軍

[連絡先] itoudesuyo2@gmail.com

[Twitter] itoudesuyo_v

[pixiv] 31760

[印刷] 株式会社サングループ



18歳未満の方の閲覧・購入を禁止します。
無断転写・複写・転用・転載・web上へのアップロードを禁止します。
この作品はフィクションであり実在の個人・団体などとは一切関係がありません

黒鉄の宿

性奴隷へと墮つ剣士

2023年 5月27日

性威大將軍

ITKZ